

## 平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

### 【1. 施策名】

施策コード	141-01	基本施策	保健衛生の充実	所管部局	保健福祉部
施策名	健康づくり活動の支援			主担当課	健康課
				関係部局課	保健福祉部健康課
施策の目標	保健センターの相談・指導体制の充実、家庭・学校・職場などでの健康教育などにより、市民が主体的に健康づくりに取り組める環境を目指します。				

### 【2. 施策に取り組む理由】

<p>施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など</p> <p>高血圧疾患、脳血管疾患、悪性新生物、糖尿病、虚血性心疾患等の生活習慣病で医療機関にかかる患者が増加している。マスコミによる様々な情報が氾濫する中、生活習慣病予防に関して正しい情報が求められている。</p>
---

### 【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
健康づくりを支援する環境が「整っている」と思う人を増やす	%	53	60	54	/	/	/	70以上
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
健康相談や健診等の機会が充実していると思う人の割合（出展：まちづくりアンケート）	総合計画における目標値70%以上を目指す							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
住民自治協議会との協働による健康講座等の実施回数	回	596	729	831	/	/	/	760
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
住民自治協議会と保健センターの共催による健康講座等の実施回数	住民自治協議会発足時H22年度実績596回≒600回 H23、H24は32地区で50回/年の増、以降15回/年の増を目指す							
25年度の取組内容実績	保健センターや地域公民館等で各種健康相談や地区の課題に応じた講演会、健康教室を開催し、また、学校・職場へ出前講座を実施した。市民5,000人を対象とした健康づくりに関するアンケートの実施などにより「新・健康ながの21」の中間評価を実施し、比較的若い世代の糖尿病対策、女性特有のがん検診受診率の低迷などの当市の健康課題を明らかにした。							

### 【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	概ね順調
評価の理由・説明等	
<b>適応性</b> 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	生活習慣の改善が必要なハイリスク者に対し、保健センターごとに相談会等への勧誘を通知するほか、勧誘通知に応じない者に対しては、個々の状況に応じて戸別訪問等勧誘方法の改善を図っている。
<b>達成度</b> 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	各保健センターの地区診断に基づく、地域の実情に応じた健康教室、運動指導等への参加者及び地域、学校、職場への出前講座の実施回数は、概ね順調に増加している。マンパワーに依るところが大きく、大幅な回数増は難しいが出前講座の要請回数も多く、市民の主体的な健康づくりへの意識は高まっているといえる。
<b>事業の成果等</b> 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	構成する事務事業についてもほぼ目標は達成しているが、健康増進計画「新・健康ながの21」の中間評価によると、各施策の目標達成状況を示す93の指標のうち75%が「ほぼ達成」「改善傾向」であり、概ね順調に進捗している。

【5. 今後の展開】

課 題		課題解決に向けた具体的な取組
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20～30歳代の肥満</li> <li>・40歳代の糖尿病予防</li> <li>・女性特有のがん検診受診率の低迷</li> </ul>	乳幼児健診時など様々な機会をとらえて若い世代に対して、また、健康ながの21推進市民の会職場部会を通じた職域へアプローチの強化などで、糖尿病・がんなどの生活習慣病についての知識の普及啓発を図る。
2		
施策展開の方向性 (H26年度以降)		健康増進には、市民の主体的な健康づくりが必要不可欠であり、健康づくりスローガンを設けて全市的な健康意識の高揚を図り、ウォーキングなどの健康づくり活動の輪を広げるとともに各種施策により生活習慣病予防を推進する。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
1	総合健康相談  [サービス提供事業]  健康課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		生活習慣病に対する正しい知識を持ち、予防を自ら行うことができる市民を増やすため、保健センター等での健康相談の実施や病態別健康相談「健康サポート相談」や理学療法士等による運動相談を実施する。					地区等からの要望で公民館等に出向き、血圧測定及び健康相談会の実施も行い、実施回数は増加している。理学療法士等による運動相談も、利用者は微増ではあるが増加している。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	継続	17,446	17,464	17,184	17,384	
2	集団健康教育  [サービス提供事業]  健康課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		生活習慣病に対する正しい知識を持ち、予防を自ら行うことができる市民を増やすため、地区診断による地域の特性、課題に応じて、各保健センター等において各種講演会、健康教室、運動講習会を開催する。					各保健センターで地区診断を行い、そのセンター、地区にあったテーマの教室等を開催している。利用者数の波はあるが、ほぼ目標どおり達成している。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	拡充	26,098	26,422	26,324	26,355	
3	健康ながの21推進  [サービス提供事業]  健康課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		生活習慣病等を理解し、生活習慣の改善を地域で仲間同士で自ら行うことができるよう、健康に関する出前講座や健康講座等を実施したり、すこやかリーダー会の活動を支援する。					出前講座の利用回数はほぼ横ばいではあるが概ね目標上回っている。すこやかリーダー会や住自協との協働による健康講座等の実施回数は、各保健センターの保健師が地区診断を行い、地区ごとの健康課題を明確にして関わることができた。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	A	A	A	B	B	拡充	55,439	55,616	56,567	55,518	
4	食育事業  [サービス提供事業]  健康課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		食を通じて、市民が心身ともに健康で、活力ある地域社会の実現を目指し、乳幼児健診や離乳食講習会、マタニティセミナー、健康相談や健康教室の中で、市民自らが食育を実践できるよう支援する。					マタニティセミナー、乳幼児健診や離乳食講習会、若い世代への生活習慣病予防講座、生活習慣病予防相談会等の通常業務のほか、国・県との共催による全国食育推進大会では、広く食に関する知識の普及を図ることができた。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	継続	4,193	8,693	7,539	16,968	

